

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド事業実施状況について

1 監事の設置

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド事業の透明性及び公平性を担保することを目的に、ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会の外部委員として監事を設置した。

(1) 役割

- ・監事は会計および事業執行状況を監査する。

(2) 任期

- ・2年とする。

(3) 定数

- ・2名とし、区議会議員と公認会計士等から各1名ずつとする。

氏名（敬称略）	所属
香川 誉夫	香川公認会計士事務所 公認会計士・税理士
つる 伸一郎	品川区議会公明党

2 応募状況

令和6年9月1日から10月4日までの期間で提案を募集した。

(1) 件数

全11事業

(2) 分野

母子保健、高齢者福祉、情報セキュリティ、夫婦協働・働き方、環境、教育、
子どもの居場所、一時保育、地域コミュニティ

3 第一次審査（書類審査）

令和6年10月28日に第一次審査（書類審査）を実施した。

(1) 審査基準

「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド実施要領」の「6. 申請できる企業・団体等」と、「7. 対象となる事業」に記載している申請条件を満たしているか。※次ページ参照

(2) 審査結果

- ①第一次審査通過 6事業
- ②第一次審査不採用 5事業

4 今後のスケジュール

令和6年11月11日	第二次審査（プレゼンテーション）
令和6年11月中旬	助成対象事業決定
令和6年11月下旬	助成金の交付（概算払）
令和7年3月～4月上旬	実績報告
令和7年4月	調査・助成金の額の確定
令和7年4月～5月	成果報告

【参考】 審査基準

第一次審査（書類審査）基準 （「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド実施要領」より抜粋）

6. 申請できる企業・団体等 ※（1）から（4）のいずれかに該当し、（5）の条件を満たす

- （1）日本国内にて次の法人格を取得している団体
一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利法人
- （2）中小企業：中小企業基本法に基づく中小企業者
ただし、発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している会社、大企業の役員を兼ねている者が役員総数の2分の1を占めている会社は含まない。
- （3）スタートアップ企業：創業5年以内で国内に拠点を持つ上場していない企業に限る
- （4）大学、研究機関：大学、高等専門学校、国立・公設試験研究機関、研究開発を行っている独立行政法人及び公益法人
- （5）応募時に、過去3年分の財務諸表を提出できる企業・団体等（活動実績が3年に満たない場合は、最低1年以上の財務諸表を提出できる企業・団体等に限る）

7. 対象となる事業 ※（1）から（5）の全てを満たす

- （1）区の課題に的確に応える提案であり、区を実証実験のフィールドとする事業
- （2）公益性のある事業であり、一定の課題の解決や社会的要請に応えることができ、具体的な成果が見込まれる事業
- （3）予算の見積もりが適正であり、提案の翌年度以降、助成がなくても提案者によって実施することが可能な事業
- （4）先駆性、新しい視点、アイデアなどが含まれており、提案者の専門性や強みを生かした事業
- （5）国や地方公共団体から補助金等の交付を受けていない事業

第二次審査（プレゼンテーション）基準

<審査基準の観点> ※1事業者30分：プレゼンテーション（10分）→質疑（15分）→採点（5分）

項目	内容
事業目的（必要性）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的が明確で、ファンドの目的に合致しているか。 ・地域ニーズや地域課題、社会課題を正確に理解し、課題に対する具体的な解決策が示されているか。SDGsに資する事業であるか。
内容（有効性）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか。 ・事業計画・スケジュールが具体的で、実現可能なものになっているか。
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制（財務状況、人材、技術等）や責任体制が明確で、計画的な事業実施が期待できるか。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・成果（時期、数値、指標、状態など）が具体的で計測可能か。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・収支のバランスがとれ、費用の使途は事業目的に対し妥当か。 ・積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか。 ・資金計画が具体的であり、資金確保が考えられているか。
将来性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業の発展性が期待できるか。 ・助成終了後も事業の継続が期待できるか。 ・提案事業者の強みや専門性、独自性、先駆性が発揮できる内容であり、またそれが具体的に示されているか。